

高等学校国語科用
文部科学省検定済教科書

2 東書 古B301

新編 古典 B



東京書籍

新編古典B



東京書籍

●著作関係者

代表著作者

三角洋一
大正大学特命教授
東京大学名誉教授

顧問

池内輝雄
前国学院大学

小町谷照彦
東京学芸大学名誉教授

石川昌紀
栄光学園中学高等学校
作家

五木寛之
前巢鴨中学・高等学校

井上秀一
青山学院大学名誉教授

大上正美
巢鴨中学・高等学校

小原広行
開成高等学校

葛西太郎
早稲田大学

兼築信行
東京学芸大学

嶋中道則
梅花女子大学

菅本大二
埼玉大学

杉浦 晋
金沢大学

杉山欣也

須藤 敬

高松洋司
埼玉学園大学
北海道札幌平岸高等学校

徳田和夫
学習院女子大学

永吉寛行
神奈川県立大和南高等学校

能智憲二
高槻高等学校

長谷川明久
湘南学院高等学校

畠山昌三
高槻高等学校

林 伸樹
神奈川大学附属中・高等学校

福島公彦
前東京都立清瀬高等学校

船崎多恵子
前国文学研究資料館

山本伸二
日本教育大学院大学

山本洋三
前栄光学園中学高等学校

吉田 茂
早稲田大学本庄高等学院

吉原英夫
北海道教育大学名誉教授

渡邊義浩
早稲田大学

東京書籍株式会社

新編古典B

平成二十五年三月十五日検定済

21東書一古B301

平成二十七年一月二十日印刷

平成二十七年二月十日発行

著作者 三角洋一 ほか二十九名(別記)

発行者 東京書籍株式会社

代表者 川畑慈範

東京都北区堀船二丁目十七番一号

印刷者 株式会社リーブルテック

代表者 酒井 隆

東京都北区堀船二丁目二十三番三十一号

発行所 東京書籍株式会社

東京都北区堀船二丁目十七番一号

〒114-8524

定価 文部科学大臣が認可し官報で告示した定価

(右記の定価は、各教科書取次供給所に表示します)

電話

本社 広報〇三・五三九・七二二二 編集〇三・五三九・七三三三

供給・販売〇三・五三九・七二四七

支社・出張所

札幌〇一・五六二・五七三二 仙台〇二・二九七・二六六六
東京〇三・五三九・七四六七 金沢〇七六・二二二・七五八一
名古屋〇五・九三九・三七二二 大阪〇六・六三九・一三五〇
広島〇八・五六八・二五七七 福岡〇九・一七二・一五三六
那覇〇九・八三四・八〇八四

本書の解説書・ワークブック並びにこれに類するものの
無断発行を禁ずる。

Copyright © 2014 by Tokyo Shoseki Co., Ltd., Tokyo
All rights reserved. Printed in Japan

●表紙・本文・口絵レイアウト 清水良子 ●表紙絵 国分チエミ
●挿絵・図版・写真 アート・エフ／赤間神宮／アフロ／アマナイメージズ／石山寺／板橋繁男／嚴島神社／出光美術館／エイブルデザ
イン／NNP／愛媛県美術館／MOA美術館／大阪大谷大学図書館／OPO／大牟田市立三池カルタ・歴史資料館／大佛次郎記念館
／神奈川県立金沢文庫／兼築信行／株式会社平凡社／北野天満宮／北野美術館／義仲寺／京都国立近代美術館／京都国立博物館
／京都文化博物館／公益社団法人日本俳優協会／公益社団法人能楽協会／講談協会／国立国会図書館／国立能楽堂／国立歴史民
俗博物館／五島美術館／財団法人廣瀬資料館／(財)林原美術館／(財)阪急文化財団／シーピー・フォト／JTBフォト／シバタ
フォトサービス／常楽寺／神宮文庫／武田真由美／太宰府天満宮／チャールズ・イー・タトル出版／天満天神繁昌亭／東京国立近代美
術館／東京国立博物館 Image:TNM Image Archives／遠山記念館／名古屋市蓬左文庫／奈良国立博物館／西井正氣／西本願寺／
日本銀行貨幣博物館／日本文具資料館／人形浄瑠璃文楽座むつみ会／ネイチャー・プロダクション／広島県立福山誠之館高校同窓会
／広島大学図書館／風俗博物館／藤田美術館／平凡社地図出版／毛利みき／安田建一／山口県防府天満宮／ユニフォンプレス／立石寺
P. 六〇『源氏物語絵巻』東屋(一)／P. 一二九『源氏物語図屏風』©徳川美術館イメージアーカイブ／DNPartcom
P. 七六『芭蕉と曾良』天理大学附属天理図書館 P. 七九『棒縛』太郎冠者・野村萬斎、次郎冠者・石田幸雄
P. 八〇『菅原伝授手習鑑』より「丞相名残」の段『義経千本桜』／P. 八一『曾根崎心中』太夫と三味線弾き／P. 八三『踊形容江戸絵巻』
P. 八二『暫』／P. 八三『恋飛脚大和往来』松竹株式会社 P. 一二三『大井川舟遊図屏風』御寺 泉涌寺 巻頭1『公事録附図』国立劇場
宮内庁書陵部

古典の世界と四季

*行事の日付は陰暦(旧暦)による。
動植物の季節は季語による。

春

❖ 四方拝しほうはい【正月(睦月)元日】

天皇が、四方の諸神と祖先の御陵などを拝し、国家の平安と五穀豊穡を祈願する儀式。



四方拝『公事録附図』



うぐひす



ふじ



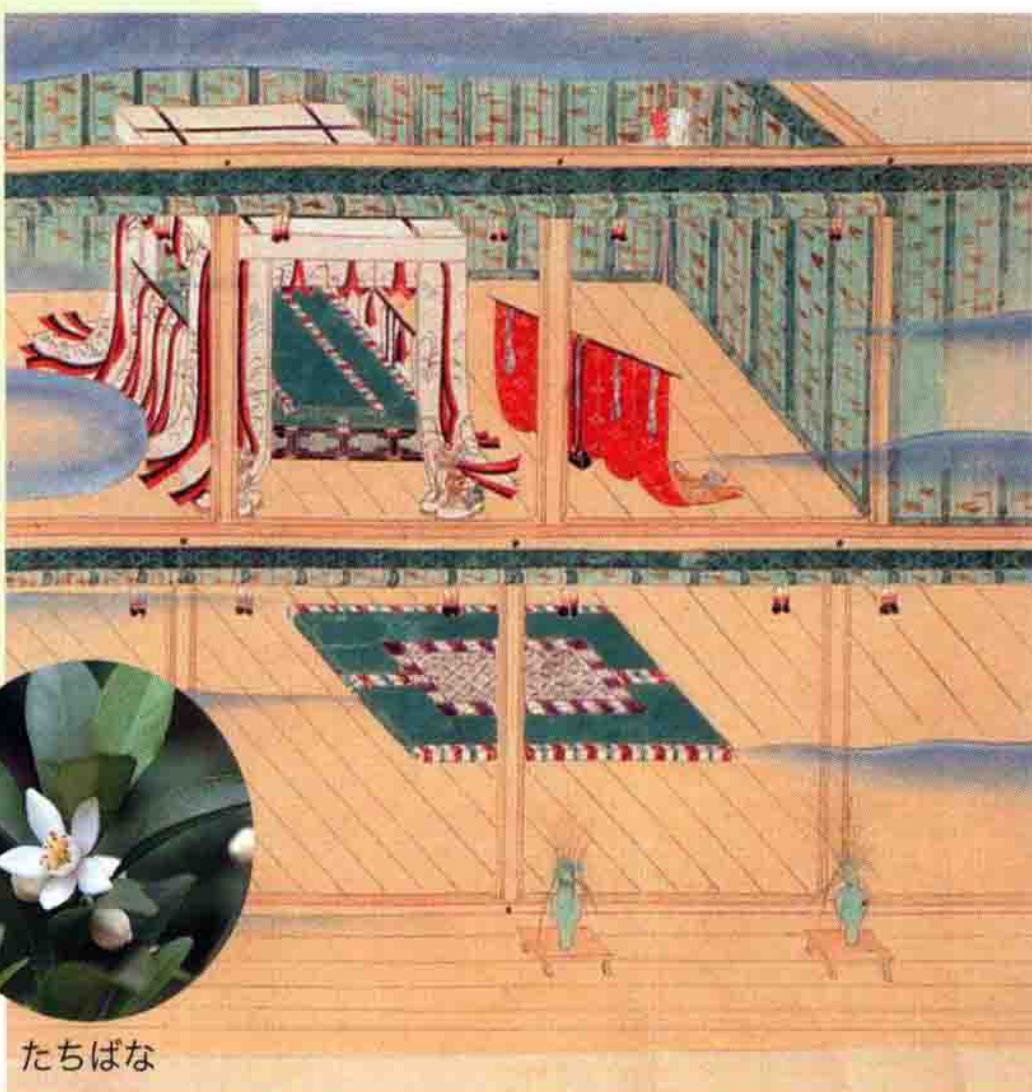
やまぶき

夏

❖ 端午節会たんごのせちえ【五月(皐月)五日】

宮中では騎射(馬上で弓を射る儀式)や宴が行われた。この日は邪気を払うために、宮中をはじめ家々の屋根に菖蒲をさした。のちに男児の節句となる。

菖蒲献上『公事十二ヶ月絵巻』



ほたる



はす



たちばな



かささぎ



さねかづら



はたおり(キリギリス)

◆ 乞巧奠【七月(文月)七日】
 牽牛星と織女星をまつる行事で、織女に手芸の上達などを願った。宮中では清涼殿の庭に四つの机をすえ、その上に供え物や琴などを置いた。七夕祭り。

秋

◆ 追儼【十二月(師走)晦日】

悪鬼(儼)を追い払う宮中の行事。官人が扮装した鬼を、桃の弓と葦の矢で追い払った。のちに節分(立春の前日)の豆まきという民間行事となる。

冬

をしどり



すいせん



さざんくわ



春の七草

せりなづな
ごぎやうはこべら
ほとけのざ
すずなすずしろ
これぞ七草
作者不明

なづな



はこべら (ハコベ)



すずな (カブ)



せり



ごぎやう (ハハコグサ)



ほとけのざ (コオニタビラコ)



すずしろ (ダイコン)



秋の七草

萩の花
尾花葛花
瞿麦の花
女郎花また藤袴
朝貌の花
万葉集 山上 憶良

をばな (ススキ)



なでしこ



ふぢばかま



はぎ



くず



をみなへし



あさがほ・ききやう



古典に現れる色

すみぞめ 墨染	ふたあい 二藍	あさぎ 浅葱	あおに 青丹	かんぞう 萱草	すおう 蘇芳	えびぞめ 葡萄染
うすずみ 薄墨	むらさき 紫	はなだ 縹	もえぎ 萌黄	くちなし 梔子	ひわだ 檜皮	くれない 紅
にび 鈍	あおにび 青鈍	しおん 紫苑	あおくちば 青朽葉	やまぶき 山吹	くちば 朽葉	こうばい 紅梅

襲の色目

紅梅
表 ▼ 紅
裏 ▼ 蘇芳

山吹
表 ▼ 薄朽葉
裏 ▼ 黄

紫苑
表 ▼ 薄紫
裏 ▼ 青

※襲の色目の取り合
わせには諸説ある。

目次

1

■ 説話に親しむ

宇治拾遺物語

小野篁、広才のこと 10

十訓抄

大江山の歌 12

宇治拾遺物語

袴垂、保昌にあふこと 14



2

■ 物語を読む

竹取物語

火鼠の皮衣 19

天の羽衣 23

◆ 古文の窓 ① 月と暦、そして古典 26

3

■ 随筆を読む

徒然草 兼好法師

神無月のころ 28

丹波に出雲といふ所あり 30

九月二十日のころ 32

久しく隔たりてあひたる人の 34

◆ 言語活動 ① 35

◆ 古文の窓 ② 兼好法師、こんな一面も 36

4

和歌の世界

小倉百人一首の世界 あんの秀子 38

『小倉百人一首』より 46

◆言語活動② 和歌を読み比べる

—— 討論会形式の「歌合」 49

5

日記を読む

土佐日記 紀貫之

馬のはなむけ 52

帰京 54

更級日記 菅原孝標女

門出 56

物語 58

6

軍記物語を味わう

平家物語

壇の浦の合戦 62

7

近世の紀行

奥の細道 松尾芭蕉

漂泊の思ひ 70

旅立ち 72

立石寺 73

最上川 74

❖ 古典芸能への誘い 77



1

随筆を味わう

枕草子 清少納言

ありがたきもの……………86

野分のまたの日こそ……………87

中納言参り給ひて……………90

雪のいと高う降りたるを……………91

方丈記 鴨長明

安元の大火……………93

◆言語活動③ 「ありがたい」と「ありがたし」……………96



2

物語を楽しむ

伊勢物語

初冠……………98

東下り……………100

大和物語

生田川……………104

◆古文の窓③ 姨捨伝説……………108

3

歴史物語を読む

大鏡

道真の左遷……………110

三船の才……………112

道長、伊周の競射……………114

◆言語活動④ 道真伝説を調べる……………117

4

■ 歌話を読む

袋草紙 藤原清輔

能因と節信 120

古今著聞集

能は歌詠み 122

無名抄 鴨長明

出で映えすべき歌のこと 125



6

■ 小説を楽しむ

世間胸算用 井原西鶴

蛸売りの八助 140

7

■ 伝承の世界

古事記

倭建命 144

古文の窓 ⑤ 連歌の起源 152

5

■ 物語を味わう

源氏物語 紫式部

光源氏の誕生 128

若紫 131

古文の窓 ④ その後の若紫 138



1 故事と小話

小話——五編

知音【呂氏春秋】……………154

断腸【世說新語】……………155

糟糠之妻【後漢書】……………156

太公望【十八史略】……………158

視吾舌尚在不【史記】……………161



2 唐詩と文

唐詩——九首

宿建德江【孟浩然】……………164

鹿柴【王維】……………164

3 史記を読む

項羽と劉邦

鴻門之会……………178

四面楚歌……………186

◆漢文の窓 捲土重来……………188

文——二編

雜說【韓昌黎集】……………171

桃花源記【陶淵明集】……………173

【白居易】……………169

草堂初成、偶題東壁

香炉峰下、新卜山居

登高【杜甫】……………168

登岳陽樓【杜甫】……………167

楓橋夜泊【張繼】……………166

磧中作【岑參】……………166

静夜思【李白】……………165

秋風引【劉禹錫】……………165

5 三国志の世界

十八史略

水魚之交……………200

竭股肱之力……………203

七縱七禽……………204

死諸葛走生仲達……………205

4 寓話を読む

寓話——五編

出藍譽【荀子】……………190

侵官之害【韓非子】……………191

刻舟求劍【呂氏春秋】……………193

塞翁馬【淮南子】……………194

長沮桀溺【論語】……………196



1

■ 小話を読む

小話——三編

鼓腹擊壤【十八史略】……………208

宋襄之仁【十八史略】……………211

燕雀安知鴻鵠之志哉

【十八史略】……………213

2

■ 古詩を味わう

古体詩——五首

桃夭【詩經】……………216

上邪【樂府詩集】……………217



3

■ 史記を味わう

廉頗と藺相如

澠池之会……………230

刎頸之交……………233

4

■ 中国の思想

人間論・政治論

性相近也【論語】……………238

不_レ忍_レ人之心【孟子】……………240

人之性惡【荀子】……………242

無用之用【老子】……………244

曳尾於塗中【莊子】……………245

5

■ 日本の漢詩文

詩——三首

五言、臨終一絶

【天津皇子】……………248

●参考 万葉集……………248

桂林莊雜詠示諸生

【広瀬淡窓】……………249

風流人未_レ死【夏目漱石】……………250

信玄と謙信

所争不在米塩

【日本外史】……………251

諸将服信玄【日本外史】……………253



小倉百人一首	256
陰暦月齡表／月の異名(陰暦)／古時刻・古方位	262
官職位階	263
品詞分類表	264
活用形の用法(文語)	265
用言の活用	265
助動詞のポイント	268
文語助動詞活用表	272
助詞の分類と用法	274
文語助詞一覧表	276
古文重要語句	278
日本古典文学史年表	284
漢文句法・重要語のまとめ	288
中国文学史年表	294
古典参考図録	巻末 4
旧国名地図	巻末 10
平安京条坊図／大内裏／内裏	巻末 11
近畿付近図	巻末 12
中国参考地図	巻末 13

❖ この教科書で学習するために ❖

■ この教科書は、**古文編Ⅰ部** **古文編Ⅱ部** **漢文編Ⅰ部** **漢文編Ⅱ部**の順序で配列し、構成した。

■ 各単元の扉には、その単元で学習する主な目標と、学習の動機づけとなる写真等を示した。

■ 各教材の注欄には、次のものを設けた。

注 ① ② …の番号を付して、主として固有名詞、

難解な語句について解説した。

発問 教材を理解する手がかりとなる問いを**？**印で

示し、関連する本文の箇所には**●**印を付した。

古文重要語句 古文教材では**▼**印を付して、基本的な古語を

示した。

助字・句法 漢文教材では**▼**印を付して、基本的な助字・

句法を示した。

■ 各教材末に「**学習の手引き**」を設け、主に読解のポイントとなる設問を示した。

■ 各教材の作者は**●**印、出典は**■**印を付して示した。

■ 「**言語活動**」を設け、読解を深める言語活動を示した。

■ 古文編では「**古文の窓**」、漢文編では「**漢文の窓**」を設け、教材に関連した内容を取り上げ、理解が深まるようにした。

■ 引用した箇所を示す場合、「**〔 〕**」内に、ページを漢数字で、行を算用数字で示した。(例)「三四六・8」

新編古典B



東京書籍

目次

1

■ 説話に親しむ

宇治拾遺物語

小野篁、広才のこと 10

十訓抄

大江山の歌 12

宇治拾遺物語

袴垂、保昌にあふこと 14



2

■ 物語を読む

竹取物語

火鼠の皮衣 19

天の羽衣 23

◆ 古文の窓 ① 月と暦、そして古典 26

3

■ 随筆を読む

徒然草 兼好法師

神無月のころ 28

丹波に出雲といふ所あり 30

九月二十日のころ 32

久しく隔たりてあひたる人の 34

◆ 言語活動 ① 35

◆ 古文の窓 ② 兼好法師、こんな一面も 36

4

和歌の世界

小倉百人一首の世界

あんの秀子

38

『小倉百人一首』より

46

◆言語活動②

和歌を読み比べる

—— 討論会形式の「歌合」——

49

5

日記を読む

土佐日記

紀貫之

馬のはなむけ

52

帰京

54

更級日記

菅原孝標女

門出

56

物語

58

6

軍記物語を味わう

平家物語

壇の浦の合戦

62

7

近世の紀行

奥の細道

松尾芭蕉

漂泊の思ひ

70

旅立ち

72

立石寺

73

最上川

74

❖ 古典芸能への誘い

77



1

随筆を味わう

枕草子 清少納言

ありがたきもの……………86

野分のまたの日こそ……………87

中納言参り給ひて……………90

雪のいと高う降りたるを……………91

方丈記 鴨長明

安元の大火……………93

◆言語活動③ 「ありがたい」と「ありがたし」……………96



2

物語を楽しむ

伊勢物語

初冠……………98

東下り……………100

大和物語

生田川……………104

◆古文の窓③ 姨捨伝説……………108

3

歴史物語を読む

大鏡

道真の左遷……………110

三船の才……………112

道長、伊周の競射……………114

◆言語活動④ 道真伝説を調べる……………117